

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	52
学校名	富山県立となみ総合支援学校

学校の現状と課題	本校は、知的障害や肢体不自由のある児童生徒が在籍している。障害の多様化が進む中、生活経験の拡大や将来の自立と社会参加に向け、児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズに応じた教育実践が求められている。本校では、新学習指導要領の実施に伴い、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、児童生徒が主体的・対話的に学ぶための授業づくりに取り組んできた。今年度は、各教科等で指導の目標(ねらい)に対する児童生徒の姿を想定し、その姿を引き出すための手立て・支援を検討しながら授業改善を行う。自立活動の指導においては、一人一人の児童生徒の実態を的確に捉え、障害の特性に応じた適切な支援を行うために教員の一層の専門知識や技能の向上が課題である。	
テーマ(特色)	児童生徒が主体的に学ぶための授業づくり～障害の特性に応じた自立活動における適切な支援を通して～	
設定した「テーマ」の達成状況	児童生徒の実態を的確に捉え、障害の特性に応じた適切な指導目標の設定や支援を行うために、21名の対象児童生徒を抽出し、外部専門家である理学療法士や作業療法士と定期的に連携を図った。特に、知的障害のある児童生徒が意欲的・主体的に活動ができるように、助言で得た指導内容や支援方法を一定期間実践した上で、再度助言を得る場を設定しながら授業改善に取り組んだ。全教員が担当する児童生徒への指導・支援に生かせるよう、外部専門家の助言を直接見聞きする機会の設定、抽出生徒の担当教員が支援のポイントを他教員に伝達する場の設定、写真入りの支援のポイント集の作成などにより、助言により得た知識や技能を教員間で共有した。	
実施内容 (具体的に記入する)	<p><知的障害児童生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ○理学療法士 松田 瞳氏(社会福祉法人くるみ)への相談 <ul style="list-style-type: none"> ・相談内容:座位や立位時の姿勢保持、歩行、身体のバランスなど ○作業療法士の渡邊順子氏(ヴィストカレッジ富山環水公園前)への相談 <ul style="list-style-type: none"> ・相談内容:物をつかむ、つまむ、握るなどの手指の使い方 (ボタン留め、スプーンやはしの扱い、はさみの持ち方、書字につながる指導など) <p><肢体不自由児童生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ○作業療法士 鷲尾智子氏(南砺市訪問看護ステーション)への相談 <ul style="list-style-type: none"> ・相談内容:水分摂取の仕方、座位や立位時の姿勢保持、歩行器の高さ確認、歩行器やつえを使つての移動など <p>外部専門家3氏より、対象児童生徒について、実態の捉え方や意欲的・主体的に取り組むための指導内容、適切な支援方法について助言を得た。小学部段階では、動きをイメージしやすくするための言葉掛け(かかとあるきの「ベンギン」やつま先立ちの「キリン」など)、中等部段階では、より実生活での活用を想定した指導内容の選定など発達段階を考慮した指導・支援についても示唆を得た。</p>	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	外部専門家から得た助言により、対象児童生徒の課題に見合った支援方法が明確になることで、身体へ支援方法、教材・教具の選定や活用の仕方などについて、教員間で情報を共有して指導・支援をする機会が増えた。教員間での共通理解が進むことで児童生徒への授業におけるめあてのもとせ方もより具体的になったことから、児童生徒はめあてを意識して学習活動に取り組み、その成果と課題を自己評価したり、教師から評価されたりすることにより、適切なフィードバックがされるようになった。このことが、児童生徒の自信につながると共に、身体や手指の動きへの意識が高まり、意欲的・主体的に取り組もうとする姿が多く見られた。今後は、更なる生活経験の拡大や自立と社会参加への意欲につながることを期待している。	
対象者(学年・人数など)	全学部児童生徒	
実施実績	4月	講師選定
	5月	教員による実態把握と指導目標等の設定
	6月	実践
	7月	外部専門家による助言(理学療法士:松田氏①、作業療法士:渡邊氏①、作業療法士:鷲尾氏①)、実践
	8月	
	9月	外部専門家による助言(理学療法士:松田氏②、作業療法士:渡邊氏②)、実践
	10月	外部専門家による助言(理学療法士:松田氏③、作業療法士:渡邊氏③、作業療法士:鷲尾氏②)、実践
	11月	外部専門家による助言(理学療法士:松田氏④、作業療法士:渡邊氏④、作業療法士:鷲尾氏③)、実践
	12月	外部専門家による助言(理学療法士:松田氏⑤、作業療法士:渡邊氏⑤)、実践
	1月	外部専門家による助言(理学療法士:松田氏⑥、作業療法士:渡邊氏⑥)、実践
2月	実践事例の紹介	
3月		